

別府市緑丘モデル地区 避難所運営訓練を見学

原田たかし
活動報告



今定例会で可決された「令和挑戦粋事業」の新規事業の中に、「市町村避難所運営等強化事業（予算額158万円）」があります。

この事業は、市町村における迅速かつ的確な避難者支援及び住民主体の避難所運営を図るため、避難所単位の運営マニュアル策定や避難所運営のリーダー育成につながる体験型研修等を実施するものです。具体的には、体験型の避難所運営研修会の開催を5地域、それぞれ2日間行うというものです。

2月9日(日)、別府市の緑丘モデル地区避難所運営訓練が行われ、私も見学しました。



朝から地元や近隣から多くの方々に参加し、訓練に熱心に取り組まれていました。会場の緑丘小学校の体育館やグラウンドでは、様々な部所に分かれ活動が始まりました。



避難者の受付では、地区別の受付だけでなく、障がい者、怪我をされている方や病気の方、外国人旅行者などの受付も設置され、対応する

場所へ案内していました。

体育前には組み立て式の仮設トイレも設置されていました。トイレ問題は、衛生面や保安面を含めて極めて深刻な状況を引き起こすことが、これまでの災害時避難所運営から指摘されています。

同じ姿勢が何時間も続くとエコノミークラス症候群や腰痛といった症状を引き起こすことも多いことから、多くの方々が避難した体育館内ではインストラクターによる体操指導が行われていました。



グラウンドでは、別府市水道局の水道供給車による水の配給、大分県薬剤師会の車による薬剤の供給も行われました。

そこまでののかと驚いたのは、体育館内で窃盗が起きてみんなと捕まえたという設定。パトカーが到着し、犯人役を務めた友人が連行されていきました。窃盗事件はあくまでも設定です。私は手を振って友人を見送りました…



また、茨城県境町から、ガソリン・電気・LPガスの3つのエネルギーで走行するトリプル・ハイブリットカーがやってきて展示され、車から電源が供給されていました。

別府市では、これまでもいくつかの地区で避難所運営訓練が行われており、来年度も石垣地区で行われる予定です。

避難所訓練の実行委員長を務められた石原雅義・緑丘町自治会長にお聞きしました。

私たちの避難所運営マニュアルができました

この訓練の準備は昨年11月から進めてきました。これまで訓練をしてきた地区の話もお聞きしましたが、「受け身になるのではなく、発信者となろう」とみんな確認しながら、白紙の状態から計画を立てていきました。



やってみるまで不安でしたが、私たちのマニュアルができたと感じています。

公式ライン開設しています

ラインをご利用されている方は、QRコードからぜひ御登録ください。活動報告などをお伝えしていきます。

ぜひ、お知り合いの方に御紹介ください。



原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いしています。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内